

### 福島高専有本さんから 日米の学生が交流会

東日本大震災で被災した  
高校生らと米国の若者の交  
流会が8日、東京都港区の  
ルース駐日米大使公邸で開  
かれた。飛び入り参加した



クリントン国務長官は、震  
災復興に取り組む日本がア  
フガニスタンへの支援継続  
を表明したことについて  
「世界に素晴らしい模範を  
示した」と評価した。

交流会には、日米の学生  
ら約20人が参加。東京電力  
福島第一原発事故の影響で  
大熊町からいわき市に避難  
している福島高専2年の有  
本温子さん(16)は「事故で  
故郷を失い、生活は一変し  
た。それでも一歩ずつ前に  
進むことができる。私たち  
の世代が東北の未来をつく  
っていく」と述べた。ルー  
ス氏は「両国の若い世代へ  
の投資を通じて『トモダチ  
世代』が生まれることを期  
待している」と述べた。

▲被災した高校生らと記念撮  
影する、クリントン米国務  
長官(中央)とルース駐日  
米大使(後列右から3人目)  
118日午後、東京都港区の  
駐日米大使公邸(代表撮影)